令和５年度　浜松市国語科研究部　第２回研修会報告

１ブロック（１・２部会）

１　日　時　８月１日（火）　13:00～14:45
２　場　所　浜松市産業展示館　１号ホール
３　内　容
（１）運営方法

ブロックごとに会場を分け、第１回研修会のグループによる実践報告と、第３回研修会の指導案の検討を行った。

（２）実践報告

１学期の実践報告をグループ内で行い、それぞれの成果と課題を確認した。また、今回の実践を踏まえて２学期以降の授業で実施できそうな内容についても協議した。

（３）指導案検討

事前に配付していた授業構想について、授業者に説明をしていただいた。その後、授業展開において悩んでいる点なども伝えてもらい、全体で検討及び助言を行った。小学校教材の取り扱いがわからない中学校教員も多いため小中でグループを組み、中学校側も授業展開や内容について聞きながら検討会を開催できるように配慮した。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

２ブロック（３・４部会）

１　日　時　８月１日（火）　13:00～14:45
２　場　所　浜松市産業展示館　２号ホール
３　内　容
（１）　グループ別研修「授業実践に関する交流」
・国語科研究部の研究の視点②学びを調整できる場面を取り入れた授業実践について、同学年グループで交流した。
・参加者から「学びの調整を取り入れた場面設定とは、ピンポイントではなく、単元を通して行えばよいことが分かった。」という声が聞かれた。
・交流内容についてのシェアリングから、学びの調整は発達段階によって異なるため、児童の実態に合った調整力を設定していくことが大切であることが分かった。

（２）　グループ別研修「第３回公開授業検討」
ア　授業者による授業構想説明　蒲小学校　徳田　雄亮先生
「浜松のすごい人を教えます！～浜松の偉人を紹介するリーフレットを作ろう～」
（小４　世界にほこる和紙・伝統工芸のよさを伝えよう）
・教材文「世界にほこる和紙」で、中心となる語や文を見付けて要約する力を付ける。その後の「伝統工芸のよさを伝えよう」では、教材で学んだことを生かし、紹介したい人物について、中心となる語や文を要約したリーフレット作りを行う。

イ　授業構想説明を受けての話合い
・本単元における、学びの調整ができている姿とはどのようなものか。
・教材での学びをどのようにつなげれば、学びを生かしたリーフレット作りができるか。
・要約がうまくできない児童に対して、どんな手立てが考えられるか。